



Zikomo kwambiri!



ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ

Cinyanja cibvuta (ニャンジャ語は簡単)!?

Muli bwanji? ザンビアに来て 3 週間が経ち生活にも慣れてきましたが、実は協力隊の活動はまだ始まっていません!というも、到着してからは一度ホテルに滞在して、活動をするための準備をしています。オリエンテーション期間に行うことは日本大使館表敬訪問、安全管理や健康管理対策講座、口座の開設、配属先表敬訪問、住居訪問など多岐にわたります。やはり海外で“生活”をするとなると、それなりに準備が必要ですよ。日本で当たり前に使っていたスマートフォンの契約をするのも一苦勞でした。その中でも私が一番興味深かったことは、やはり現地語の語学訓練です。

私たちザンビア隊員の訓練言語はニャンジャ語で訓練期間はなんと 5 日間!5 日間でどこまでできるようになるのだろうと不安な気持ちをかき消すように、先生がとっても愉快でスピーキング重視の授業を展開してくださり、楽しく学ぶことができました。新しい言語を学ぶことってこんなに楽しいんだ!と思うと同時に、情報が入っては抜けていく自分の不甲斐なさに落ち込んだり……。でもそういった苦難も含めて勉強って楽しいなって思いました。やっぱり、習ったことを実際に使ってみて伝わったときや、ニャンジャ語を話すと現地の人々が喜んでくれるので、そういった姿を見たときに言語を学ぶ醍醐味ですよ。

語学訓練終了後には、スピークアウトという成果発表がありました。一人 3 分程度で“Diversity and inclusiveness through Zambian language and culture training”のテーマに沿って話しました。その様子が現地のテレビで放送されて、次の日に配属先に行ったら「テレビ見たわよ」と。まるで有名人の気分でした(笑)



テレビ放送の様子

ザンビアのソウルフード、シマ!!

さて、今回紹介するのはザンビアのソウルフード、シマ(Nshima)です。シマとは、メイズと言われるとうもろこしの粉を練ったものです。シマはザンビアの主食なので日本でいうお米と同じ位置づけで、お肉や野菜などのおかずと一緒に食べます。見た目はマッシュポテト、味と食感はずきたてのお餅みたいでした!シマは手で食べます。右手でシマをこねて丸めてからおかずと一緒に食べるのですが、シマが熱すぎてまだ上手に食べるできません(笑)ザンビア人のように綺麗に食べられるようになりたいです。



おかずにはお肉だけでなくお魚も!

野菜や豆もよく一緒に食べます。結構塩が効いていて味が濃いです。



白いのがシマです